

えがお 愛顔つなぐえひめ国体伊予市開催推進総合計画

(平成26年8月13日 第1回実行委員会総会決定)

1 趣旨

第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」(以下「えひめ国体」という。)の成功に向け、市民一人ひとりが英知と情熱を結集し、えひめ国体に関わる方をはじめ、全ての人が達成感と満足感を味わえるよう、心のこもったおもてなしや伊予市ならではの魅力あふれる大会を目指し、伊予市開催方針に基づき推進総合計画を策定する。

2 基本方針

(1) 総務企画

ア 総務企画

県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密な連携を図り、えひめ国体を一過性のものとせず、本市まちづくりの将来像でもある「ひと・まち・自然が^{くは}れ合う郷」の実現につながる大会とするため、総合的な計画の立案と施策推進を図る。

イ 財務

県、競技団体、関係機関及び関係団体との相互協力のもと、創意と工夫を凝らし、効率的で健全な財務の運営を図る。

ウ 広報

えひめ国体開催に対する市民の理解と協力が得られるように様々な媒体や機会を通じて、効率的かつ積極的な広報啓発活動を行うとともに、本市特有の自然や歴史・文化・産業など魅力ある地域資源を全国に発信する機会と捉える。

エ 市民協働

市民一人ひとりがえひめ国体開催に積極的に参加する機運を高めるとともに、市民総参加のもとえひめ国体を盛り上げていくことで、市民協働によるまちづくりの推進につなげる。

オ 観光・接伴

全国から訪れる選手・役員をはじめ応援観戦に来られた方々に、本市の観光、歴史、文化、産業などを広く紹介し、もう一度本市を訪問していただけるような心のこもったおもてなしや観光案内を提供する。

(2) 競技式典

ア 競技

競技会の開催にあたっては、県、競技団体、関係機関及び関係団体と緊密な連携を図り、円滑で効率的な運営を行うものとする。

イ 式典

競技会における開始式及び表彰式については、華美にならないよう、また、選手等の負担にならないよう関係者と協議し、簡素の中にもぬくもりのあるものとなるよう、創意工夫を凝らした式典とする。

ウ 施設

競技施設については、国民体育大会開催基準要項に規定されている施設基準を尊重し、既存施設の有効活用に努めることを基本に、将来にわたり、市民が気軽にスポーツを親しむことができるような整備を実施する。

(3) 宿泊衛生

ア 宿泊

選手・役員等大会関係者の宿泊については、宿泊施設等関係機関との緊密な連携を図りながら、おもてなしの心でお迎えし、十分にくつろいでいただける快適な環境づくりに配慮した受け入れ体制の確立を図る。

イ 医事・衛生

えひめ国体に関わる全ての方々が快適で安心・安全な環境のもとで十分な活躍や観覧・活動等ができるよう、医療機関等関係機関との緊密な連携を図りながら、防疫・医療救護体制の確立を図る。

(4) 交通警備

ア 輸送・交通

本市の交通機関及び道路状況を十分に勘案し、交通事業者等関係機関との緊密な連携を図りながら、安全かつ効率的で確実な輸送手段の確保に努める。

併せて、交通混雑の緩和と環境への負荷を軽減するために公共交通機関の利用を促進し、交通安全の徹底を考慮した輸送・交通体制の確立に努める。

イ 警備・消防

競技会場等大会関係施設における治安の確保や災害防止、非常時における緊急対応に万全を期するため、警察・消防等関係機関と緊密な連携を図りながら、警備・消防・防災体制の確立を図る。